

運動・呼吸器リハビリテーション科

○ 運動・呼吸器リハビリテーション科の概要

1. 運動・呼吸器リハビリテーション科の特色

リハビリテーションは、障害をもった人々を最適な身体的、精神的、社会的、職業的、経済的な能力を発揮できる状態にし、可能な限り高いQOLを実現することを目標とする。すなわち、疾病による障害を十分に理解し、医学的治療と訓練、教育、経済的あるいは社会的援助を通じて、生活機能の回復を図る。リハビリテーション医療に必要な幅広い知識や技術は、医療全体をより人間的、社会的観点から捉えるため、必要不可欠であり、入局者のみならず、全ての診療科からの研修を歓迎する。

2. 診療実績（2017年度）

受診患者	1790名
・脳腫瘍	281名
・脳出血	286名
・脳梗塞	476名
・くも膜下出血	106名
・その他の脳血管障害	367名
・その他	274名

3. 診療・教育スタッフ

高橋 秀寿（教授）
丸山 元（講師）

4. 研修責任者と臨床研修指導医

研修責任者：高橋 秀寿（診療部長）
臨床研修指導医：高橋 秀寿

5. 臨床研修プログラムの特色

埼玉医科大学病院ならびに国際医療センターにおける卒後2年間の初期研修プログラムにおいて地域保健、または自由選択研修として国際医療センター運動・呼吸器リハビリテーション科を選んだ場合の初期研修プログラムである。

国際医療センターは救命救急センター、心臓病センター、包括的がんセンターから構成され、先端医療の中で、急性期よりリハビリテーション臨床を実践できる世界でも数少ない施設である。発症早期よりリスク管理を行いながら、早期に社会復帰を行うべく、効率的なリハビリテーションプログラムを立案し、実践していけるような知識を身につける。

また、基幹病院としての役割を果たすべく、地域連携の中でリハビリテーション医療を研修できるようにする。

6. 経験目標・到達目標

一般目標（G10）

医師として必要な基本姿勢や態度の修得はもちろんのこと、リハビリテーション医学に関連する疾患や合併症を幅広く理解し、診断・治療について研修する。

行動目標（SB0s）

1. 主たる疾患や病態における障害構造を理解した上で、患者の評価を行い、リハビリテーション計画を立案する。
2. 主たる疾患の特性や廃用症候群をはじめとする合併症、リハビリテーションに関する医学的リスクを十分に理解する。
3. 理学療法・作業療法・言語聴覚療法を十分に理解し、それぞれのスタッフと連携を取りながら、チーム医療を実践し、リハビリテーション計画を立案し、処方を行う。
4. 義肢装具の適応を理解し、作成の手順、保険や公費による助成制度を理解する。
5. 嚥下障害の診察方法を理解し、嚥下造影検査によってさらに病態を把握してその治療法を見いだすことができる。

6. 脳卒中患者の痙縮の病態を理解し、ボツリヌス毒素注射の適切な筋の同定、投与量を理解する。
7. 急性期・回復期・維持期のリハビリテーションの役割を理解した上で、それぞれのリハビリプログラムを立案し、遂行する。
8. 介護保険や身体障害者手帳など社会資源の活用を積極的に行うことができる。
9. 障害を有する患者やその家族に対して、心理的なサポートおよび障害受容の程度に応じた病状説明ができる。

到達目標と評価表（1ヶ月間研修した場合）

【評価 A：可 B：不可】	自己評価	指導医評価
1. リハビリ計画、立案ができる。	()	()
2. リハビリ処方ができる。	()	()
3. リハビリカンファレンスの司会ができる。	()	()
4. 義肢装具の処方ができる。	()	()
5. 嚥下造影検査が実施できる。	()	()

到達目標と評価表（2ヶ月目以上研修した場合）

【評価 A：可 B：不可】	自己評価	指導医評価
1. リハビリ計画、立案ができる。	()	()
2. リハビリ処方ができる。	()	()
3. リハビリカンファレンスの司会ができる。	()	()
4. 患者へのリハビリの予後の説明ができる。	()	()
5. 義肢装具の処方、適合判定ができる。	()	()
6. 嚥下造影検査が実施できる。	()	()
7. 筋電図検査が実施できる。	()	()
8. 障害者手帳の記入ができる。	()	()

7. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟回診	脳外科カンファレンス	病棟回診	抄読会	病棟回診	病棟回診
	合同カンファレンス	回復期リハビリ病院の見学	合同カンファレンス	リハビリ診察	合同カンファレンス	
	リハビリ診察	装具外来	リハビリ診察	嚥下造影検査	リハビリ診察	リハビリ診察
午後	理学療法見学	作業療法見学	言語療法見学	回復期リハビリ病院の見学	薫風園での装具診	
	症例検討会	リハビリ診察	リハ回診	嚥下造影検査	リハビリ診察	

8. 研修に関する問い合わせ先

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1
 埼玉医科大学国際医療センター
 運動・呼吸器リハビリテーション科
 高橋 秀寿（診療部長、教授）
 TEL：042-984-4111（代表）
 E-mail：taka1959@saitama-med.ac.jp